

令和2年度第2回秋田県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

1 開催日時 令和3年3月5日（金） 10：30～12：00

2 開催場所 秋田職業能力開発促進センター 1号棟2階大教室

3 主な議題

- (1) 令和2年度職業能力開発事業実施状況について
- (2) 令和3年度職業能力開発事業実施計画について
- (3) 秋田県訓練計画専門部会報告
- (4) 秋田職業能力開発短期大学校部会報告

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・ コロナ禍の中でも訓練をしっかり受けて就職しようという方々の意欲が資料から見えている。また、受講者を集めることが大変難しい中で、様々な取組を行っていることについて敬意を表したい。
- ・ コロナの状況にもよるが、テレワークを今後企業は継続していくのか、それとも一旦元に戻すのか、このような課題はコロナが終息した後も残っていくと思われるので、それらへの対応についてニーズ調査も含めて取り組んでいただきたい。
- ・ 飲食業や観光業が大変厳しい状況の中、今後、オンラインやIT化を進めていくために、生産性向上支援訓練やIT活用が重要となっていくことから、より支援に取り組んでいただきたい。
- ・ 機構においては、引き続き、離職者訓練及び在職者訓練を適切に実施していただき、就職率や企業の生産性向上に努めていただきたい。
また、機構というとブルーカラーの訓練がメインと見られがちだったが、生産性向上支援訓練においてマーケティングなどホワイトカラー系の職業訓練も行っており、飲食業や観光業などあらゆる業種が対象となるため、事業主団体や連合からもこういった訓練があることを会員企業や労働者に宣伝していただき、局、県、機構は幅広く周知していただき、さらに秋田県産業の発展に貢献していただきたい。
- ・ テレワークは自宅介護や訪問介護にも活用できると考える。学校でもタブレットの導入が進んでいる。学生なども発表や何か調べる際にはスマートフォンを使っている。我々こそ、それに合わせIT化していかなければ置いていかれてしまうので、皆さんの方も力を入れていただきたい。

秋田県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 委員名簿

渡部 昌平 (会長)	秋田県立大学総合科学教育研究センター	准教授
藤井 真悟	日本労働組合総連合会秋田県連合会	事務局長
脇 正雄	一般社団法人秋田県経営者協会	専務理事
水澤 聡	秋田県商工会議所連合会	常任幹事
金子 治生	秋田県商工会連合会	専務理事
佐藤 満	秋田県中小企業団体中央会	専務理事
佐藤 義晃	大館商工会議所	会頭
橋 康恵	秋田労働局職業安定部長	
鈴木 和朗	秋田県産業労働部雇用労働政策課長	

(敬称略：順不同)